



乳幼児の事故を予防しよう！⑤

「さわる・接触する」

消費者庁と国民生活センターが共同で行っている医療機関ネットワークによると、0・1・2歳児の事故の原因として多い順に「転落」事故、「転倒」事故、「誤飲・誤嚥」事故、その次が「さわる・接触する」事故です。今回は「さわる・接触する」事故についてお伝えします。

「さわる・接触する」による事故はほとんどがやけどの事故で危害の程度も中等度以上の状態になってしまつて場合が多くなっています。

やけどのきつかけは様々ですが、0歳ではスープ等「調理食品」や「電気ポット類」、1歳では「炊飯器」「調理食品」、2歳では「めん類」「花火」が比較的多い状況です。また、「電気ポット」「コーヒー」「めん類」などは液体をかぶったり内容物が張り付くためか、中等度以上になる割合が高い傾向がみられます。

さらに「さわる・接触する」による事故のうち、重大な事故はすべてやけどの事故でした。子どもは皮膚が弱いので、少しの熱でも重症化する危険があります。

表1 さわる・接触する事故に関連する商品等

	医療受診が必要な事例		重症・重篤・死亡事例	
	商品等	件数	商品等	件数
1	電気ポット類	15	電気ポット類	5
2	コーヒー	10	鍋・釜類	2
3	鍋・釜類	10	コーヒー	1

医療機関ネットワーク情報に寄せられた件数 (2010年12月～2015年11月) より

事例1 台所で電気ポットが転がっており、お湯をかぶっていた。胸と背中が赤くなりやけどを負った。(9か月男児)

事例2 テーブル(高さ80cm)に電気ポットがあり、子が手を伸ばして倒れ、左上半身に熱湯がかかってしまった。目撃者な

がかった。目撃者な

し。左腕、左胸、お腹に水泡破れあり、全身の8～9%の熱傷。1歳1か月男児)

事例3 テーブル上でコーヒーを入れていた。コーヒーが落ちる様子に興味を持ち、子が手を出したところ、ドリッパーがひっくり返った。顔と胸にいれたのコーヒーと豆がかかった。口の中にもコーヒー豆が入っていた。冷やして救急車を呼んだ。顔は発赤のみ水泡なし。左腕に皮ふが赤くなって水泡ができる程度の熱傷。(1歳3か月男児)

事例4 自宅台所でガスコンロの横にカップうどんを作っていた。その横のゴミ箱を整理しており、その横に子がいた。その直後、子がカップうどんに手を伸ばしてこぼしてしまい、右肩から全部がかかってしまった。直後に冷水のシャワーで冷やした。水泡ができてきたので救急車を呼んだ。顔、右肩、右背中、右胸に水泡がありやぶけている。顔にやけどもあり入院。(1歳3か月男児)

お知らせ

乳房検診ができる医療機関が増えました！(平成28年11月より)

医療機関名	所在地	電話番号	診察時間等	費用
国立病院機構 和歌山病院	日高郡美浜町 和田 1138	0738-22-3256	予約制ですので 直接お問い合わせください	無料